

I 研修テーマ

「進んで関わり合い、考えを深め合う児童の育成」
～考えを練り合う場面での ICT の効果的な活用を通して～

II 主題設定の理由



新学習指導要領では、学校で学んだことが明日や将来につながるように、「何を学ぶか」だけでなく、「どのように学ぶか」を重視し、「知識及び技能の習得」「思考力、判断力、表現力等の育成」「学びに向かう力、人間性等の涵養」を偏りなく実現できるようにするため、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を行うことが示された。さらに、文部科学省は、GIGA スクール構想の実現を目指し、多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育 ICT 環境の実現を謳っている。また、本校で

も令和3年度より一人一台端末が導入され、ICT を積極的に活用した授業実践をすすめてきた。

令和4年度は、タブレット導入から1年経過し、タブレットを使ってみようというところから発展し、授業における ICT の効果的な活用方法について研修を進めてきた。どの場面で ICT の活用が効果的かを検討し、検証してきた。導入時の前時の復習や自分の考えをまとめ、発表する時など多様な場面で、ICT を活用することができた。しかし、ICT を活用して全体で考えを共有、比較まではできても、さらに考えを練り合い、深めることには課題が残った。

そこで、今年度は、昨年度の ICT の活用の成果を生かしつつ、昨年度より場面を限定し「追求する」過程での考えを練り合う場面において、ICT の効果的な活用を考えることで、児童が自分の考えを深め合い、協働的な学びが実現できるのではないかと考え、本研修のテーマを設定した。

III 研修のねらい

「追求する」過程での考えを練り合う場面において、「いつ」「どこで」「どのように」の視点から ICT の活用方法を工夫することで、進んで関わり合い、自分の考えをより深めていく児童を育成する。

IV 研修の進め方

年間の計画

1学期	4月:研修推進委員会 ①今年度の研修について(研修テーマ等) ②目指す授業像の設定(学力向上コーディネーター)
	5月:校内研修全体会 ①学年別目指す児童像・課題解決に向けた具体的な取り組み・全校実践の期間 評価・検証方法の設定
2学期	6月:授業訪問(授業研修会)
	7月:学校評価への協力(内部資料の分析) 授業実践(一人1授業)の実施・評価・検証
2学期	夏季休業中:要請訪問

	8月・9月・10月:授業実践の実施・評価・検証 12月:①学校評価への協力(内部資料の分析)
3学期	1月:学力テストの研修 実践資料による理論研修 2月:①研修のまとめ ②今年度の反省および次年度の研修内容の方向性の検討 3月:学校の現状把握

① テーマ研修について(学校の課題解決)

1. 学校の課題について、共通理解を図る。
2. 課題解決に向け、低・中・高の目指す児童像、具体的な目標を設定し、「はばたく群馬の指導プランⅡ (ICT 活用 version)」「問題解決的な学習を充実させる ICT 機能」を基に授業をつくり、どのような手立てが考えられるかアイデアを出し合う。(昨年度の実践も参考にし、活用していく。)
3. 課題解決に向けた具体的な取り組み、全校実践の期間、評価・検証方法を設定し、授業実践を行う。
4. 授業実践の評価・検証を行う。課題解決に向けた手立てが有効であったか考察する。

② 教職研修(教師の資質向上)について

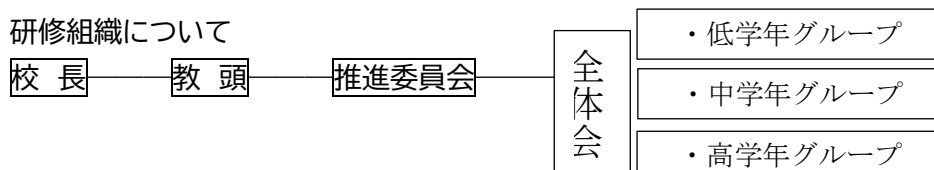
1. ICT 活用に関する研修(タブレットの活用研修)
2. 先生方の専門性を生かしたワンポイントレッスン
3. 小中連携に関する研修
4. 学力向上に関する研修

③ その他

1. 研修推進委員会で提案事項等を検討する。
2. 授業実践は、全職員が協力し、それぞれのグループで、PDCA を複数回展開する。
3. 研修推進委員会は、校長・教頭・教務・研修主任・研修推進員(低・中・高)で構成する。研修推進委員を各ブロックから1人選ぶ。

V 研修の組織および計画

① 研修組織について



○研修推進委員:校長 教頭 教務主任 校内研修主任 低(藤木)中(豊島)高(小林)